

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神疾患とその治療 I (福祉心理学科)		必修 (精・心) 選択 (社)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;精神医学の基礎、精神疾患の知識と治療、精神科医療のシステムについて学ぶ。基礎を踏まえて日常生活や専門家としての援助方針に生かせるようになることが目的である。</p> <p>&lt;概要&gt;同時双方向授業 (遠隔授業) で展開する。I の授業では、精神医学概論、精神科医療システムを扱う。II の授業では精神疾患の各論と治療を扱う。教科書の内容に準拠しつつ、事例など具体例を提示する。Teams のコメント機能を用いた双方向授業を通して理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>Teams 上でコメント、発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療 第2版/編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	<p>症例でわかる精神病理学/著：松本卓也/誠信書房</p> <p>DSM-5 ケースファイル/著：Barnhill, J. W./監訳：高橋三郎/訳：塩入俊樹、市川直樹/医学書院</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神医学の概論を理解でき、必要な知識を習得し説明できる。			WP(5)、	
②	代表的な精神疾患・障害を理解し、その治療法を説明できる。			WP(3)、WP(5)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 精神疾患とその治療 I/II の全体像を理解する。	同時双方向型授業	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	3	
2	精神医学概論 精神医学、医療の歴史と現状、心の理解を学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
3	精神障害の理解 精神障害の概念、精神疾患の成因と分類について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
4	精神疾患の症状と診断① 精神症状と状態像について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
5	精神疾患の症状と診断② 診断の手順と方法について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
6	精神疾患の症状と診断③ 心理的検査と身体的検査について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
7	精神科医療機関の治療構造および専門病棟① 疾病構造の変化、外来治療について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
8	精神科医療機関の治療構造および専門病棟② 在宅医療、入院医療、医療観察法対象者の支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
9	精神科治療における人権擁護①：精神科治療と入院形態、インフォームドコンセントについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
10	精神科治療における人権擁護②：隔離、拘束のあり方、精神科救急医療システムとその対象について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
11	精神科治療における人権擁護③ 移送制度による入院について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
12	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性① 治療への導入に向けた支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
13	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性② 再発予防のための支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
14	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性③ 退院促進の支援について学ぶ。	同時双方向型授業	事前に教科書を読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
15	まとめとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	18	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	10	20
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	知識を問う問題と理解度を問う応用問題などから構成される。単純な知識の取得度を評価する。さらに、知識を用いて思考、表現ができてきているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができてきているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。			答案を返却し、Teamsにて解説とフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)			コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>本講義は精神保健福祉士取得のために必要な科目である。資格取得を目指す学生は必ず履修すること。</p> <p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行う。課題ダウンロードなどを行うので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>臨床心理士として13年、公認心理師として2年の臨床経験。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>Teams を用いて、発言やチャットを随時求めながら双方向的に授業を展開する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて具体的なイメージを伝えながら知識を学ぶ。</p> <p>授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。</p>							